

たましんレポート2014 用語解説集

たましんレポート2014をよりわかりやすくお読みいただくため、用語の解説を記載いたしました。

あ行

1 インキュベーション施設

新たなビジネスを始めようとしている人や企業に対し、不足する資源(資金、オフィス、ソフトなど)を提供し、その成長を促進するための施設のこと。施設の入居には一定の審査が必要な場合がありますが、安価な家賃で使用できることや、金融相談・技術相談・経営相談等の各種支援施策を受けることができます。

→ p. 32

2 インキュベーションHUB推進プロジェクト事業

高い支援能力・ノウハウを有する創業支援機関が連携体を構築し、創業予定者の発掘・育成から成長促進までの支援を一体的に行う取り組みを支援していくため、東京都が実施する事業のこと。

→ p. 8

3 インキュベーションマネージャー

起業を目指す方や起業して間もない事業者の方に、事業の知識やノウハウ、経営資源など、不足するものを幅広く補い、事業プランをともに考え、事業の達成へのアドバイスをを行うなど、創業支援を専門に行う者のこと。

→ p. 8

4 インフラ(インフラストラクチャー)

交通、通信、電力、水道、公共施設など、社会や産業の基盤として整備される施設のこと。社会基盤ともいいます。

→ p. 1、2、3、4、7、10、12、34

5 エコピープル

「eco検定」の受験合格者で幅広い環境問題に対する基本的な知識を有し、そこから生まれる問題意識を日常の行動に活かそうとしている人のこと。エコピープルが集まり、環境問題に関連する勉強会を自主的に行う等の活動も行われています。

→ p. 20

6 ALM (Asset Liability Management)

資産と負債の構成、金融機関においては、全ての預金や貸出の金利・期間を把握し、将来の金利の変動を予測し、それを踏まえたうえで、リスクの最小化と収益の極大化を図るリスク管理の手法のこと。

→ p. 24、29

7 オペレーショナル・リスク

不適切な事務やシステムのトラブル等の要因により損失を被るリスクのこと。オペレーショナル・リスクには事務リスク、システムリスク、その他のリスクが含まれます。

→ p. 24

か行

8 海外展開一貫支援ファストパス制度

海外展開を考えている中小企業に対して、外務省(在外公館を含む)、日本貿易振興機構(JETRO)等の海外展開支援に知見がある機関の協力も得ながら、支援機関が一丸となって、一貫した支援を提供する制度のこと。

→ p. 12

9 貸倒引当金

融資金の回収ができないことを予想して、そのために引き当てておく金額のこと。
正常先・要注意先の債権の区分ごとに計上する引当金が一般貸倒引当金、破綻懸念先、実質破綻先、破綻先の個別債務者ごとに計上される引当金を個別貸倒引当金といいます。

→ p. 23、25

10 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権のこと。

→ p. 25

11 業務純益

金融機関固有の利益指標で、基本的な業務の成果を示します。基本的な業務から得られた粗利益である「業務粗利益」から業務遂行に必要とされる費用である「経費(除く臨時的経費)」および「一般貸倒引当金額」を除いたもので、金融機関の基本的な業務に係る利益を示しています。

→ p. 23

12 金利リスク

将来の金利変動によるリスクのこと。
債券投資においては固定金利商品の場合、市場金利が上昇することで、相対的にその商品が生み出す金利(キャッシュフロー)が下がることによる債券価格の下落などがあげられます。
また、融資を受けたケースでは、変動金利の場合、将来の金利上昇による返済額増加などが金利リスクになります。

→ p. 24

13 コア業務純益

業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益で算出され、金庫本来の事業活動での利益を把握するものです。

→ p. 23

14 コア資本

自己資本比率計算上の自己資本の額のこと。普通出資、優先出資、内部留保等の合計を指します。

→ p. 24

15 コミュニティ・ビジネス

地域の課題を地域住民が中心となって、ビジネスの手法を用いて解決する取り組みのこと。
組織形態は個人、NPO組織、会社組織など多様であり、活動分野もまちづくり、環境、介護福祉などあらゆる分野に広がりをみせています。

→ p. 4、12、17、18

16 コンプライアンス

社会規範の遵守や法令遵守のほか、業界団体のルール、金庫内の規程等の諸ルールに従い、厳正に遵守すること。

→ p. 27、30

さ行

17 財務デューデリジェンス

資産の劣化、不良資産の存在、負債の過少計上、重要な簿外債務の発見等、企業の価値・収益力等の判断をするため、企業が作成した財務諸表の適正性を検証すること。

→ p. 10

18 事業承継

会社(事業)を現在の経営者から他の人(後継者)へ事業の引継ぎを行うこと。これまで経営者として保有・管理してきた様々なものを後継者へ譲り渡すこと。現在の経営者が自分の子どもに後を継がせる「親族承継」が一般的でしたが、最近では従業員や社外の後継者など第三者への承継やM&Aの活用も行われています。

円滑に承継をするためには後継者の教育や株式の譲渡を行うことや、相続財産の評価などの相続対策などが必要です。

→ p. 2、9、11、12、17

19 市場リスク

金利、有価証券価格、為替など市場で取引される商品の価格変動により、資産・負債の価値が変動し損失を被るリスク、及び収益が変動し損失を被るリスクのこと。

→ p. 24

20 システムリスク

コンピュータシステムの障害による停止または誤作動により損失を被るリスクのこと。

→ p. 29

21 事務リスク

役職員が正確な事務処理を怠る、あるいは事故・不正等を起こすことにより損失を被るリスクのこと。

→ p. 29

22 信用リスク

与信先や信用供与先(発行体など)の財務状況の悪化等により、資産(オフ・バランス資産を含む)の価値が減少あるいは消滅し、金融機関が損失を被るリスクのこと。

→ p. 24

23 森林認証素材

樹木の成長量に見合った採伐が行われていることや、土壌・水質・野生動物などの生態系に配慮しているなど、環境・社会・経済面での厳しい基準を基に管理された森林から調達された木材で作成され、環境に配慮された素材のこと。

→ p. 20

24 スキーム(scheme)

体系立てられた枠組み、計画。企業の事業計画は、事業の枠組みを表す計画でもあることから、事業スキームとも呼ばれています。

→ p. 10

25 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権のこと。

→ p. 25

26 その他のオペレーショナル・リスク

評判の悪化や風説の流布などにより損失が発生する風評リスク、お客さまに対する義務違反や不適切な取引などから損害が発生する法務リスク、災害などにより有形資産に毀損・損害が発生する有形資産リスク、規律違反・不祥事件、人事運営上の不公平・不公正やハラスメント等の差別的行為、就業環境の悪化などにより発生する人的リスクの4つをさします。

→ p. 29

た行

27 ターンアラウンドマネージャー

企業を再生させるために登用された人材のこと。現状把握から再生計画の立案、債権者との交渉、関係者との調整や再建計画の実施等に至るまで、企業再生全般の実務に携わります。

→ p. 10

28 TTMLレート

お客さまが金融機関で外貨を売買する際の基準となるレートのこと。たましんでは毎日10時頃にこのレートを決定しています。

→ p. 21

29 テストマーケティング

商品やサービスの販売にあたり、予め決められた地域や流通チャネルなどを用いてテスト的におこなうマーケティング手法のこと。

→ p. 9

30 統合的リスク管理

各リスクを種類ごとに評価し、それを総体的に捉えたものと自己資本とを対比することにより、健全性、収益性、効率性を評価する、自己管理型のリスク管理のこと。たましんでは、信用リスク、市場リスク、流動性リスク、オペレーショナル・リスク(事務リスク、システム・リスク等)を統合的リスク管理の対象としております。

→ p. 24

は行

31 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権のこと。

→ p. 25

32 ビジネスマッチング

商品やサービスの提供側とその利用者側との間に入り、双方を結び付けてビジネスへつなげること。

→ p. 12

33 評価益

株式などの有価証券が、買ったときの値段(簿価)から値上がりして、現在の値段(時価)の方が高くなっているときのその差額のこと。
反対に買ったときの値段(簿価)より現在の値段(時価)が低くなっているときの差額は評価損といいます。

→ p. 26

34 ポートフォリオ

多種類の銘柄や金融商品の組み合わせのこと。
一般的に、資産運用において、ポートフォリオは運用資産(保有資産)の構成状況(組み合わせ)のことを意味し、その中身は預貯金、株式、債券、投資信託、REIT、外貨預金、外国株式、金など実に様々なもので構成されています。
ポートフォリオにおいては、全体の収益性(リターン)や換金性(流動性)を考えて、金融商品をいかにうまく組み合わせるリスクを管理しながら運用(分散投資)するかが重要であるといえます。

→ p. 26

ら行

35 ライフイベント

人の一生涯の中で発生する出来事(イベント)のこと。
就学、就職、結婚、出産、子育て、教育、住宅購入、退職、介護、住宅リフォーム、相続などが挙げられます。

→ p. 13、15

36 リスク・アセット

金融機関が抱えるリスク資産(有価証券や外国為替、貸出金など)にリスクの大きさに応じた掛け目を乗じたもの。

→ p. 24

37 流動性リスク

市場の混乱により必要資金が確保できない場合や、通常より著しく高い金利での資金調達を余儀なくされるリスクのこと。

→ p. 29